

★ 整備メニュー・内容 ★

- 基幹事業：計画の目標を実現するための主たる事業（道路本体に関わる事業）・・・道路改良事業，交通安全事業，防災事業，補修事業等
- 関連社会資本整備事業：基幹事業と一体的に行うことが必要な事業・・・河川事業，海岸事業，港湾空港事業，砂防事業等
- 効果促進事業：基幹事業と一体となって効果を一層高める事業・・・長寿命化等計画策定，景観整備，交通安全施設整備等

【成果目標①】

「安心とゆとりの創出時間」とは・・・

未改良の道路は，幅員狭小，線形不良等により十分な視距が確保できず，また，危険な法面等が存在し事故や災害が懸念され，歩行者や自転車等に注意しながら不安な運転を余儀なくされ，走行速度の低下を招いていました。

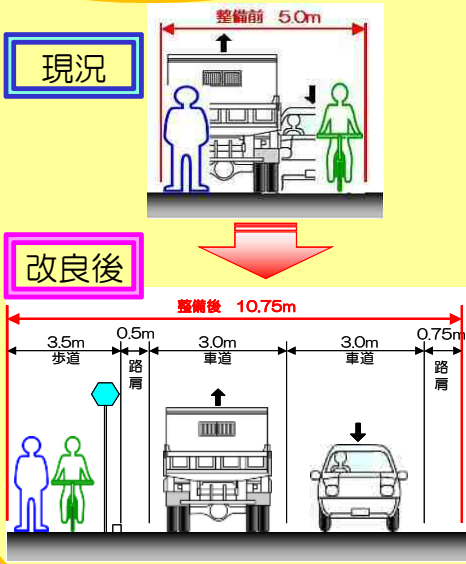
そこで，道路の利用者に

- ・ 「安心走行時間」：道路が改良されることにより，事故や災害等の不安や走行性の悪さに伴うストレスが解消され，安心して快適な走行が出来る時間
- ・ 「ゆとりの時間」：目的地までに要する時間が短縮されることにより得られる時間

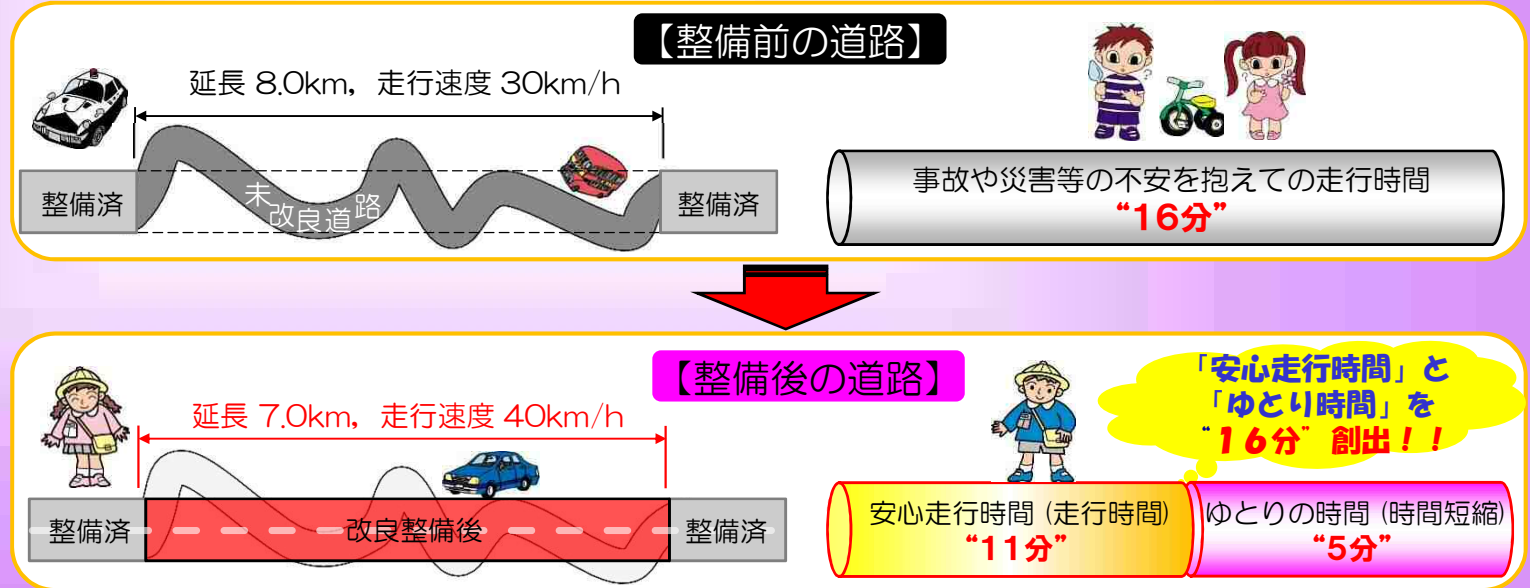
の余裕を提供するため，「安心とゆとりの創出時間」について目標を設定して整備を行いました。

このほか「防災対策必要箇所解消等による災害時等の緊急輸送活動の支援」，「舗装補修等により走行の安全性，快適性の向上」，「歩道設置に伴う自転車や歩行者の安全確保」の事業を推進しました。

整備イメージ



指標イメージ



【成果目標②】

「都市内道路の整備区間における走行時間損失の削減」とは・・・

都市内道路（都市計画道路）とは、都市交通施設としての機能のほか、次のような機能を持っています。

- ◎ 通風や採光、オープンスペースといった居住環境を維持するための機能
- ◎ 避難路や救援路などの都市防災施設としての機能
- ◎ 電気・ガス・上下水道・電話等の都市施設のための空間としての機能
- ◎ 市街化を誘導する機能

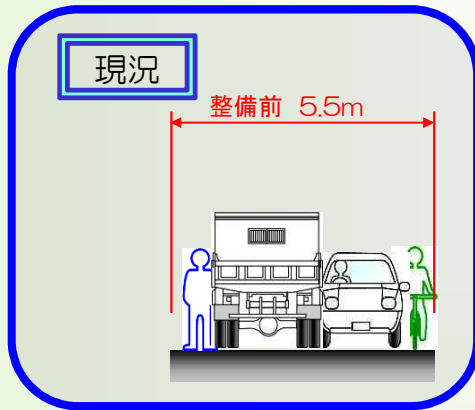
整備前の道路では、線形不良や、幅員の狭小、歩道未整備による歩行者や自転車等への配慮により、不安な運転を余儀なくされ、道路を通過するにあたり、相当な時間等を要しているところです。

今回、社会資本整備総合整備計画を策定し成果目標を設定するうえで達成度を目に見えるかたちにするために、道路を利用されている方々が改良前に通行した際にかかった時間と、道路が改良されることにより、安全・安心に通過することができる時間を算出し比較することとしました。

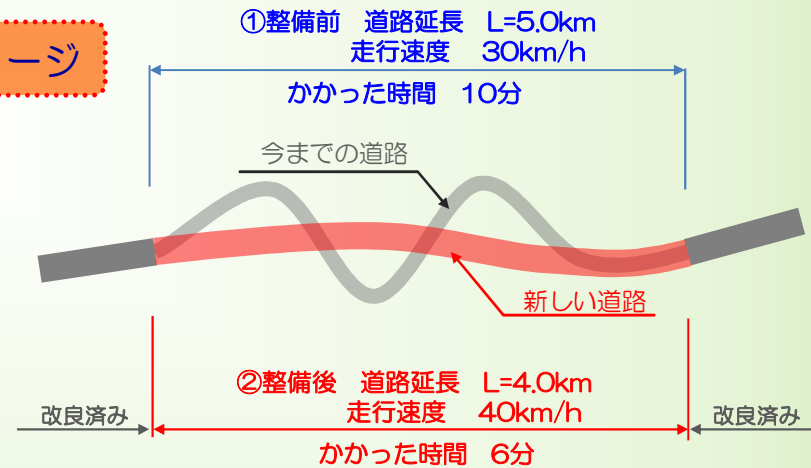
また、成果目標のほかに、都市計画道路を整備することにより、歩道整備による歩行者等の安全確保や都市空間の確保など、様々な役割を果たすことができます。

改良のイメージ

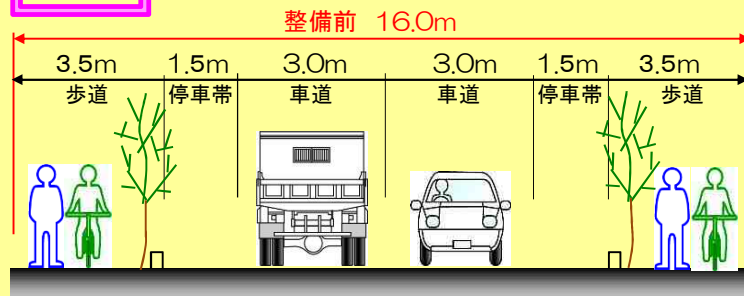
- 車と歩行者の分離による安心・安全な道づくり
- ゆとりある都市空間整備
- 植樹帯の設置による良好な生活環境の確保
- 停車帯整備による円滑な通行の確保など



指標のイメージ



改良後



$$\text{削減割合} = \left[\frac{6 \text{分 (整備後の走行時間)}}{10 \text{分 (いままでの走行時間)}} - 1 \right] \times 100 = \underline{\underline{-40\%}} \text{ (％)}$$

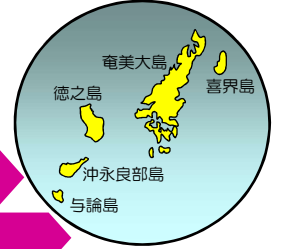
いままでも道路を通行するのに余分にかかっていた時間を走行時間損失としています。

今回の例では、道路改良を行うことにより、走行時間を**40%削減**（4分短縮）することができました。

計画名称

奄美地域における群島内外の交流連携強化による安心して生涯を送れる地域づくり

【事業主体】鹿児島県、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町



計画の目標・計画期間

空港・港湾へのアクセス強化、島内道路網の整備及び群島内外の交流連携を強化し、豊かな自然や独特の伝統・文化を生かした個性ある地域としての発展を図ることにより、日常生活の安定を通じて住民が安心して生涯を送れる地域社会を形成する。〔平成21年度～平成25年度（5箇年）〕

道路利用者

車道が“約24km”改善され“約15分”走行時間が短縮

歩道が“約6km”整備され歩行者等の安全性が向上

法面危険箇所“11箇所”，橋梁“13橋”，舗装補修“約14km”を修繕

要素事業の進捗状況

単位：箇所

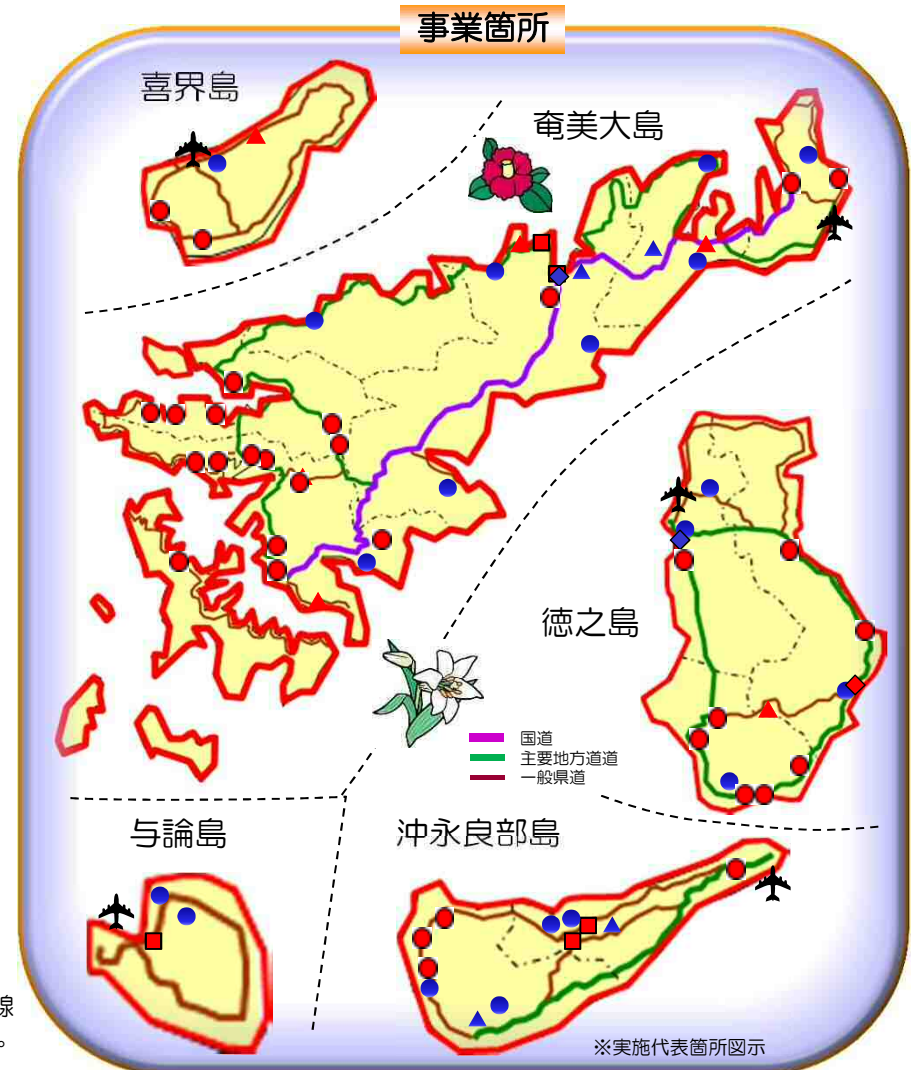
事業区分	区分	工種	計画	実施		備考				
				完了	継続					
A：基幹事業	県	道路改良(指標①)	●	32	32	13	19	バイパス，現道拡幅		
		修繕	▲	52	52	52	0	舗装補修，橋梁補修等		
		交通安全	■	6	6	5	1	歩道設置，交差点改良等		
		街路整備(指標②)	◆	1	1	0	1	現道拡幅		
		その他	○	0	0	0	0			
	市町村	道路改良(指標①)	●	34	34	16	18	現道拡幅		
		修繕	▲	6	6	6	0	舗装補修，橋梁補修等		
交通安全		■	0	0	0	0	歩道設置，交差点改良等			
B：関連社会資本事業	—	街路整備(指標②)	◆	2	2	1	1	バイパス，現道拡幅		
		その他	—	0	0	0	0			
		C：効果促進事業	県	植栽，調査等	—	0	0	0	0	
		市町村	植栽，調査等	—	30	30	27	3	橋梁長寿命化計画等	

目標達成状況

指標①	計画の成果目標	改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間の創出			
	定義及び算定式	「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度) × 将来交通量 + { (現況延長/現況速度) - (改良後延長/将来速度) } × 将来交通量			
	達成状況	達成度 ⇒ 91%			
	内容	県道伊仙亀津徳之島空港線ほか12箇所及び市道浦上屋万田線ほか15箇所を完了し、緊急輸送道路である県道名瀬瀬戸内線や避難道路である村道田検名音線など島内道路網の整備を行ったが、目標を達成できなかった。			
		当初現況値 (H21)	最終値 (H25)		
		目標値	0時間	1022時間	
		実績値	—	935時間	
指標②	計画の成果目標	都市内道路の整備計画区間における走行時間損失削減			
	定義及び算定式	「走行時間損失の削減割合」= (評価時における走行時間損失/現況(H21)における走行時間損失-1) × 100 (%)			
	達成状況	達成度 ⇒ 100%			
	内容	都市計画道路海岸通線平土野工区が完了し、道路拡幅およびバイパス整備による走行性の向上、旅行速度の改善が図られ、目標を達成できた。			
		当初現況値 (H21)	最終値 (H25)		
		目標値	0%(1.6h)	-20%(1.3h)	
		実績値	—	-20%(1.3h)	

今後の方針

緊急輸送道路である県道名瀬瀬戸内線や湯湾新村線，県道間を結ぶ物流路線である市道赤木名笠利線や都市計画道路の小俣線など，H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。



計画名称

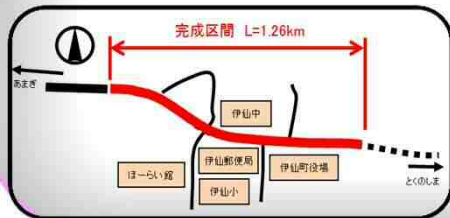
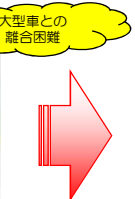
奄美地域における群島内外の交流連携強化による安心して生涯を送れる地域づくり

【事業主体】 鹿児島県, 奄美市, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町, 龍郷町, 喜界町, 徳之島町, 天城町, 伊仙町, 和泊町, 知名町, 与論町

整備効果事例

道路改良

主要地方道 伊仙亀津徳之島空港線(大島郡伊仙町伊仙工区)



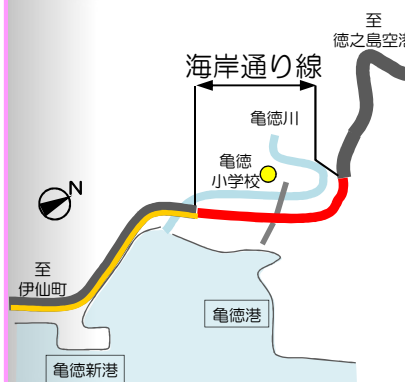
★整備効果★

伊仙町役場や亀徳港等へのアクセスの向上, また、災害時等の緊急輸送活動の向上及び自転車や歩行者等の安全確保が図られた。

- ◆歩道整備による歩行者、自転車等の安全性確保
- ◆道路拡幅により車両通行の安全性向上
- ◆線形改良により0.1 km短縮

街路整備

都市計画道路 3・4・1号 海岸通り線
いせんかめつとくのしまくこうせん
(主要地方道 伊仙亀津徳之島空港線)



★整備効果★

徳之島空港へのアクセス向上, 歩道整備による歩行者の安全性確保が図られた。

- ◆拡幅による車両のスムーズな通行確保
- ◆旅行速度が約10km/h向上
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保

交通安全(歩道設置)

主要地方道 名瀬瀬戸内線(奄美市名瀬長浜地区)



段差があり、歩行者や車椅子の通行が危険



★整備効果★

歩道のバリアフリー化により、安全で快適な歩行空間の確保が図られた。

修繕(舗装)

町道 大山林道線・黒貫工区(大島郡知名町黒貫地区)



★整備効果★

1級町道知名新城線と知名町総合グラウンドを結ぶ本路線は、簡易舗装・路面不良区間の整備により、走行車両及び歩行者の安全性確保、集落と主要施設間のアクセスの向上及び地域間交流の活性化が図られた。